



みどり野

潟上市立出戸小学校
校報 No.9
令和6年10月11日

校訓 「 太陽のように明るく 松のようにたくましく 海のように心豊かに 」
教育目標 「 進んで学び たくましく 心豊かな子どもの育成 」
目指す子どもの姿 進んで学ぶ子ども たくましい子ども 心豊かな子ども

体験活動から学んだ前期 終了！！

あっという間に10月。折り返し地点の前期が終了いたしました。とても充実していました。特に、子どもたちは、机の上だけでの学びではなく、体験的な学習を通して、様々なことに気付き、学びを深めていきました。体験、そのものが、子どもたちの心を豊かにしたり、課題を追究する力を高めたりする上で、とても重要であると強く感じた前期でした。

他学年と交流し合う「メイト活動」。「○○ちゃん～」「○○おねえさん～」と互いに名前呼び合う姿や上の学年が下の学年の目線に合わせ、話している姿など相手を気遣いながら関わる姿が見られ微笑ましく思いました。高学年では、追分小学校や東成瀬小学校の友達と、1年生は、出戸こども園の園児と交流しました。メイト学習の経験を生かしながら、積極的に友達の名前を呼んで声を掛けていました。体験で得た気付きを次の体験に生かす姿を見ることができました。

「アゲハの幼虫は、何を食べるのかな。」「ぼくがよく行くスーパーマーケットはどんな秘密があるのかな。」「ふるさとの偉人、石川理紀之助は、なぜ、農業の父と呼ばれたのかな。」等、ふるさとを教材とし、常に「問い」を発する姿が見られました。このような子どもたちの姿を見て、改めてふるさと「出戸」のすばらしさを感じました。

こども園の友達と1年生とでミニミニ運動会

1年生の学級活動の時間に、出戸こども園の年長さんを招いて、ミニミニ運動会を行いました。こども園の子どもたちとの交流は、「心豊かな子ども」を育成する上で、意義のある活動です。こども園の子どもと1年生が、共に楽しみながら活動する姿が見られました。

感心した姿は、チームの勝利のために1年生が中心になり、玉入れの作戦を話し合っていたことです。

1年生「遠くに投げちゃだめだよ。」「高く投げた方がいいよ。」

年長さん「どうやって高く投げたらいいの。」「ジャンプするしかないな。」

この作戦が功を奏したのか・・・勝利につながったようでした。

1年生がちょっとだけ、お兄さんお姉さんになり、温かく見守っていたのが印象的でした。



